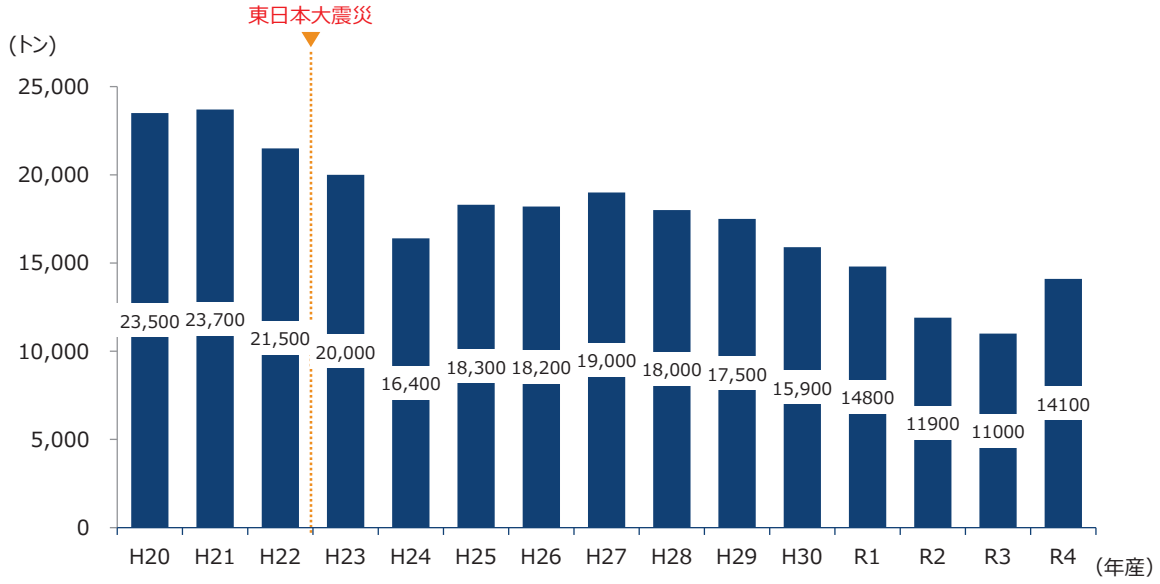
福島県産日本梨の出荷量の推移

福島県産日本梨の出荷量は、平成22年産から平成24年産にかけて大きく減少した後、平成27年産まで増加していたが、それ以降再び減少傾向である。令和2年度は黒星病の発生により、令和３年産は凍霜害の影響で出荷量が少なかったが、令和4年産は令和元年産と同程度まで回復した。

福島県産日本梨の出荷量の推移

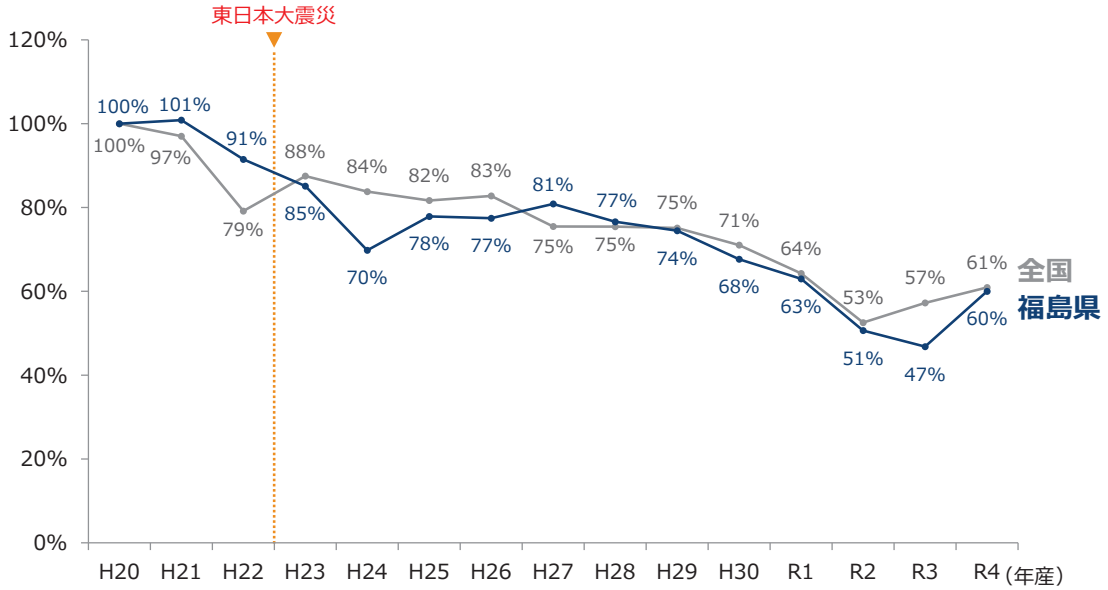


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

全国・福島県産日本梨の出荷量の推移

全国の日本梨の出荷量については、平成24年産以降減少傾向にある。福島県産日本梨も震災前から減少しており、令和4年産の出荷量は、平成20年産の約60%であった。

全国・福島県産日本梨の出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

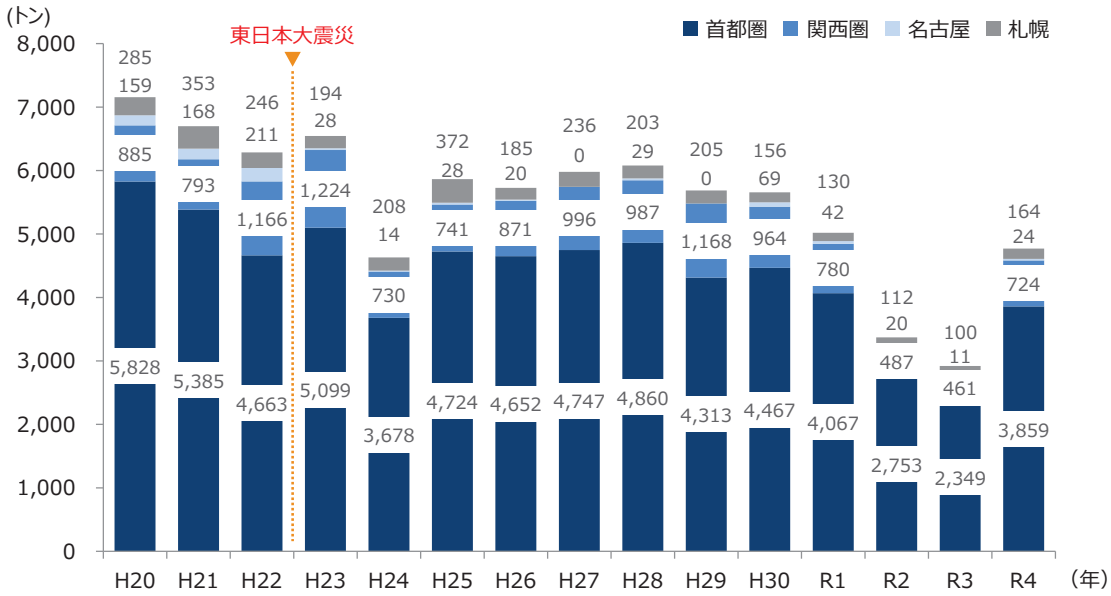


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

各市場における福島県産梨の取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産梨の取扱量は、震災前から継続して首都圏での取扱いが最も多い。また、震災後の取扱量は、平成24年以外は震災前に近い水準で推移していたが、令和2年と令和3年は気象条件や病害の影響もあり少なくなっている。

各市場における福島県産梨の取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場における梨の産地リレー(令和4年産・首都圏)

東京都中央卸売市場においては、福島県産梨は9月と10月にシェアが2位であった。1月から3月にはシェア1位であるが、量は僅かである。横浜市中央卸売市場においては福島県産梨は9月にシェアが2位、10月にシェアが3位であった。

各市場における産地リレー(令和4年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	88%	100%	100%	-	-	0%	0%	8%	20%	26%	7%	16%	3,452
栃木	3%	0%	0%	-	-	12%	2%	22%	31%	33%	51%	26%	6,005
茨城	0%	0%	0%	-	-	0%	12%	23%	14%	6%	1%	3%	3,134
千葉	9%	0%	0%	-	-	0%	5%	24%	15%	5%	0%	0%	3,125
新潟	0%	0%	0%	-	-	0%	0%	4%	6%	12%	30%	29%	1,555
総量	**7**	**0**	**4**	**0**	**0**	**11**	**624**	**6,124**	**9,789**	**3,395**	**933**	**152**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	-	-	-	-	-	-	0%	7%	24%	17%	4%	0%	408
茨城	-	-	-	-	-	-	28%	52%	34%	16%	0%	0%	840
栃木	-	-	-	-	-	-	0%	10%	14%	13%	42%	0%	320
秋田	-	-	-	-	-	-	0%	0%	7%	29%	17%	0%	209
新潟	-	-	-	-	-	-	0%	5%	6%	18%	31%	0%	197
総量	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**83**	**632**	**1,259**	**355**	**74**	**16**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場における梨の産地リレー(令和4年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場においては、福島県産梨は1月と11月にシェア1位（量は僅か）、9月と10月にシェア2位であった。京都市中央卸売市場においては、福島県産梨は11月にシェアが3位であったが、年間を通して福島県産梨の取扱いは少量である。

各市場における産地リレー(令和4年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	37%	-	-	-	-	0%	0%	3%	18%	22%	36%	0%	708
徳島	0%	-	-	-	-	0%	21%	46%	5%	0%	0%	0%	1,201
鳥取	7%	-	-	-	-	0%	0%	15%	20%	0%	5%	0%	883
新潟	2%	-	-	-	-	0%	0%	7%	11%	40%	30%	0%	688
長野	0%	-	-	-	-	0%	0%	4%	18%	16%	19%	0%	656
総量	**22**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**192**	**2,219**	**2,666**	**620**	**10**	**25**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	-	-	-	-	-	0%	0%	1%	0%	11%	0%	16
鳥取	48%	-	-	-	-	-	0%	26%	28%	5%	20%	56%	339
徳島	0%	-	-	-	-	-	39%	49%	6%	0%	0%	0%	286
富山	0%	-	-	-	-	-	0%	8%	21%	37%	3%	0%	220
長野	0%	-	-	-	-	-	0%	7%	24%	29%	0%	0%	214
京都	52%	-	-	-	-	-	0%	4%	15%	28%	50%	23%	196
総量	**5**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**18**	**497**	**609**	**121**	**84**	**27**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場における梨の産地リレー(令和4年産・その他)

福島県産梨の取扱いは、名古屋市中央卸売市場ではほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、福島県は８月～10月に主力産地の一つとなっており、また、取扱量は少ないものの12月～1月の福島県産梨のシェアは高かった。

各市場における産地リレー(令和4年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	100%	-	-	-	-	0%	0%	1%	1%	1%	5%	24
長野	0%	0%	-	-	-	-	0%	43%	59%	37%	17%	35%	1,969
新潟	0%	0%	-	-	-	-	0%	10%	12%	29%	46%	0%	604
佐賀	0%	0%	-	-	-	-	88%	25%	0%	0%	0%	0%	496
愛知	0%	0%	-	-	-	-	11%	16%	8%	5%	10%	37%	431
富山	0%	0%	-	-	-	-	0%	4%	13%	8%	0%	0%	351
総量	**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**201**	**1,266**	**2,009**	**555**	**155**	**13**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	100%	-	-	-	-	-	0%	12%	18%	5%	0%	63%	164
新潟	0%	-	-	-	-	-	0%	58%	66%	81%	97%	0%	840
茨城	0%	-	-	-	-	-	65%	20%	11%	7%	1%	6%	137
長野	0%	-	--		-	-	0%	1%	3%	3%	0%	7%	29
福岡	0%	-	-	-	-	-	17%	7%	0%	0%	0%	0%	19
総量	**15**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**10**	**261**	**528**	**275**	**122**	**15**	

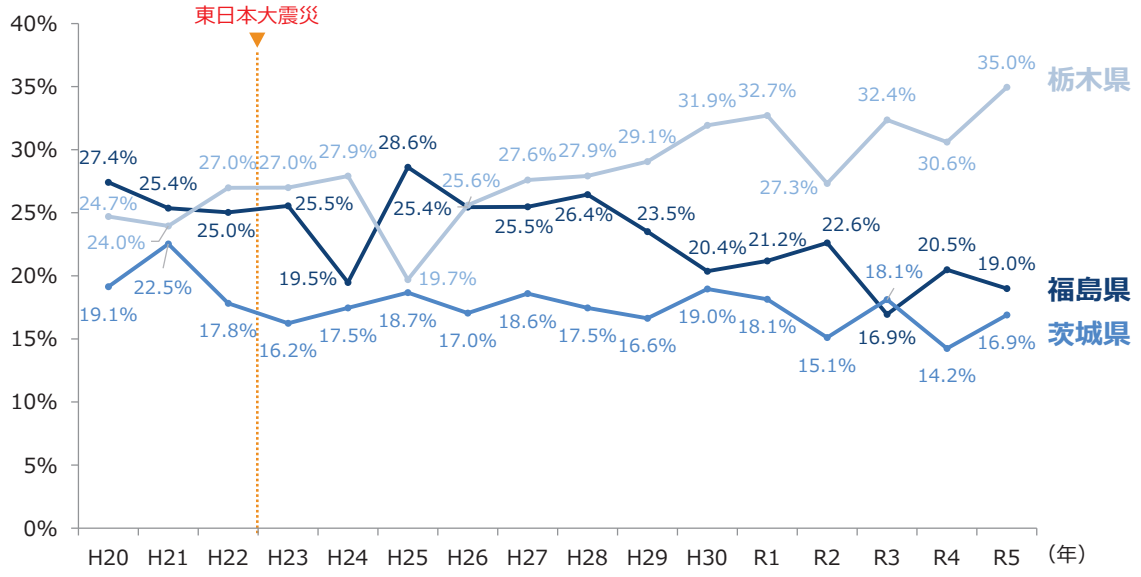
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

東京都中央卸売市場における福島県産梨のシェアの推移

東京都中央卸売市場における9月の福島県産梨のシェアは、平成25年に震災前を上回るシェアとなったものの、その後は縮小傾向にある。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(9月)

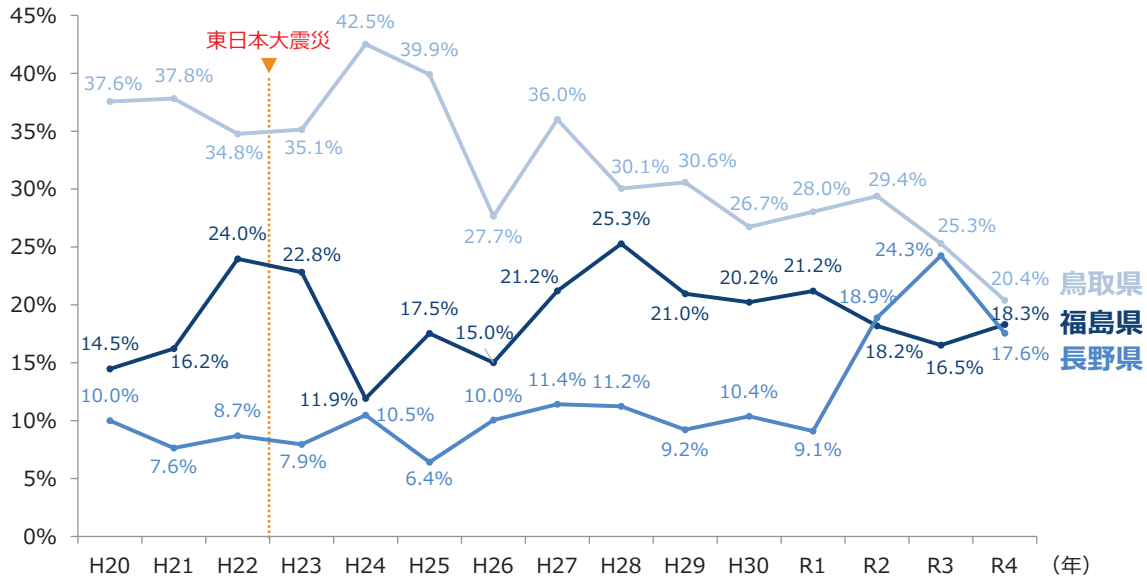


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産梨のシェアの推移

大阪市中央卸売市場の9月の福島県産梨のシェアは、平成24年に大きく縮小したが、以降は回復傾向にあり、震災前に近い水準を維持していた。しかし、令和２年以降は縮小傾向にある。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(9月)

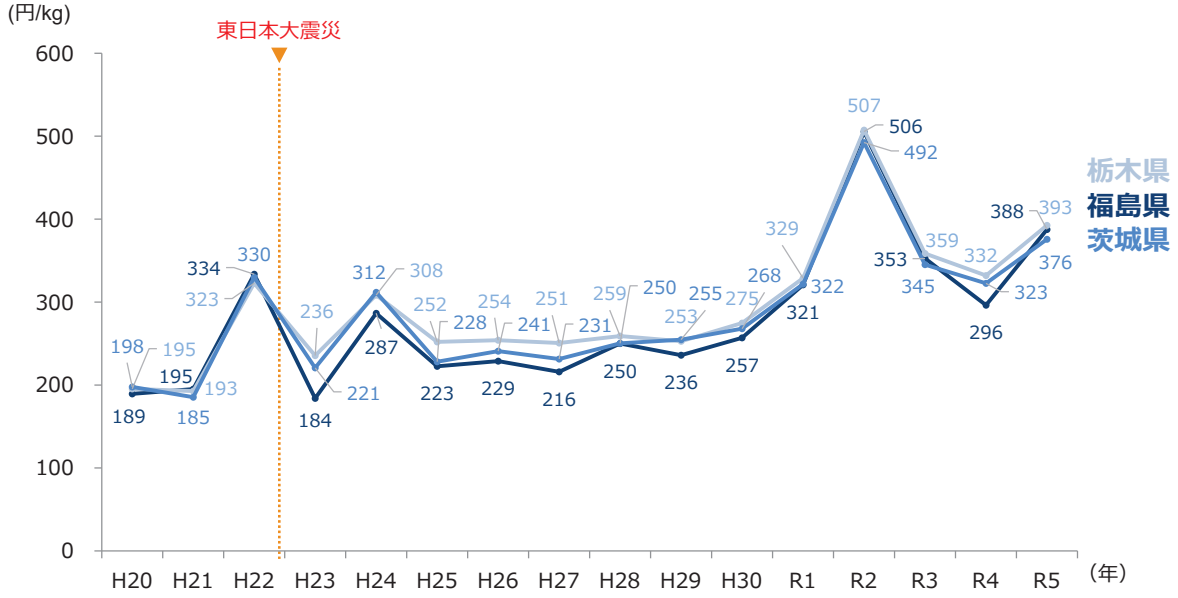


データ出所：大阪市中央卸売市場「市況情報」

東京都中央卸売市場における福島県産梨の単価の推移

東京都中央卸売市場の9月の福島県産梨の平均単価は、震災後、茨城県産や栃木県産よりも低い水準で推移していたものの、令和元年以降はほぼ同水準となっている。ただし、令和4年は茨城県産や栃木県産よりも低い水準となった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(9月)

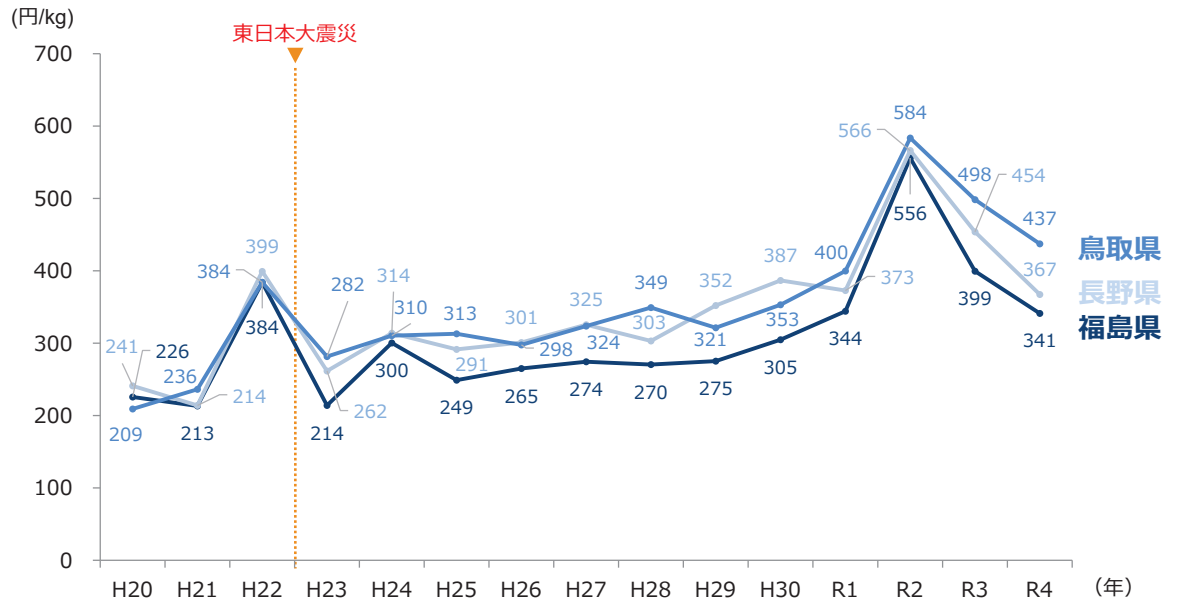


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産梨の単価の推移

大阪市中央卸売市場の9月の福島県産梨の平均単価は、震災後、鳥取県産や長野県産との差が拡大していたが、令和2年はその差が縮小した。令和3年はその差が再び拡大した。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(9月)

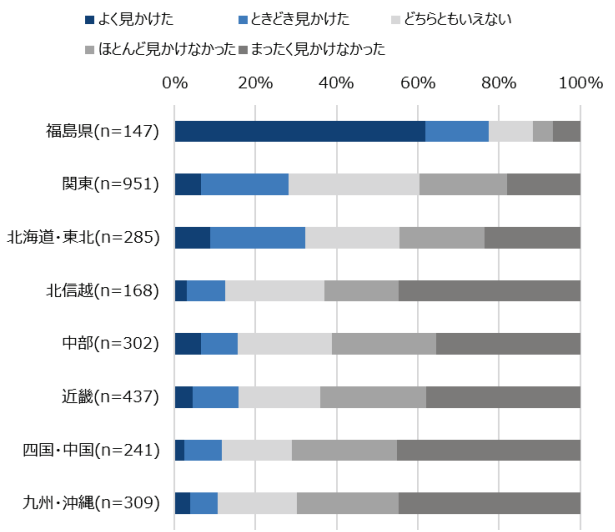


データ出所：大阪市中央卸売市場「市況情報」

福島県産梨を見た経験と購入経験（消費者アンケート）

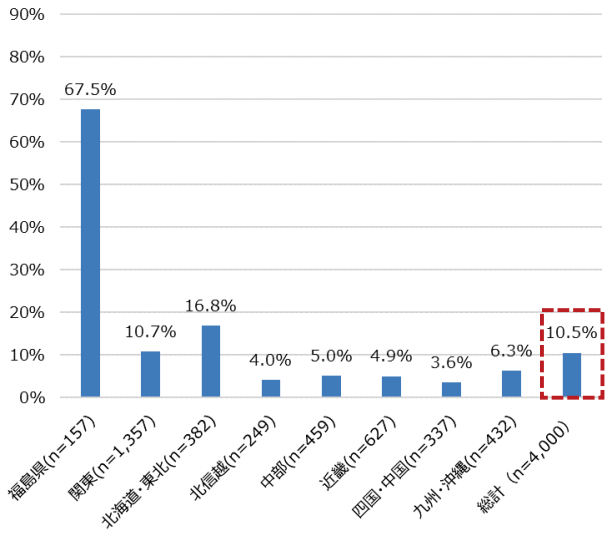
福島県産梨を店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産梨を購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では10.5%であった。

福島県産梨を店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産梨を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産梨の購入経験率

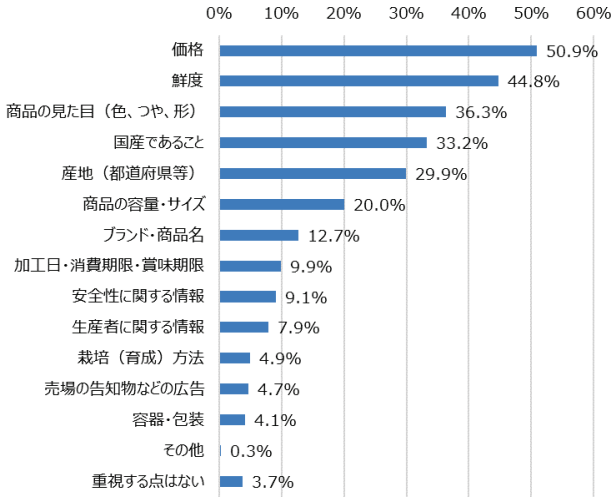


※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

梨購入時の重視点と福島県産梨の購入者の評価（消費者アンケート）

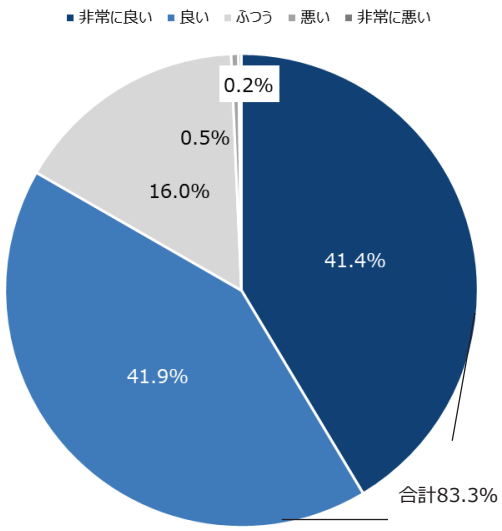
福島県産に限らず梨購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「商品の見た目（色、つや、形）」があがった。福島県産梨の購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が83.3%であった。

梨購入時の重視点（n=2,461、複数回答）



※梨購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上梨を購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産梨の購入者の評価（n=418）

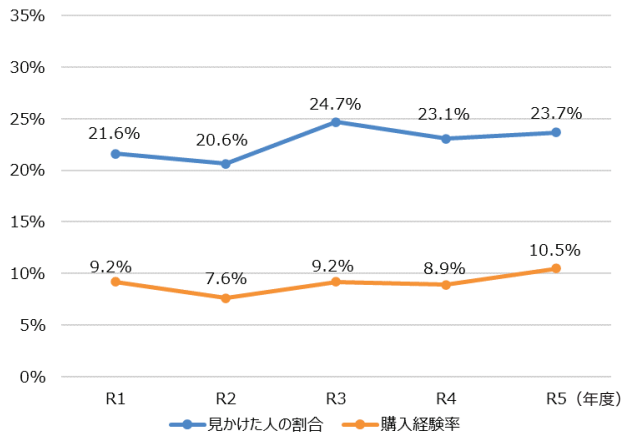


※福島県産梨を買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産梨を見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

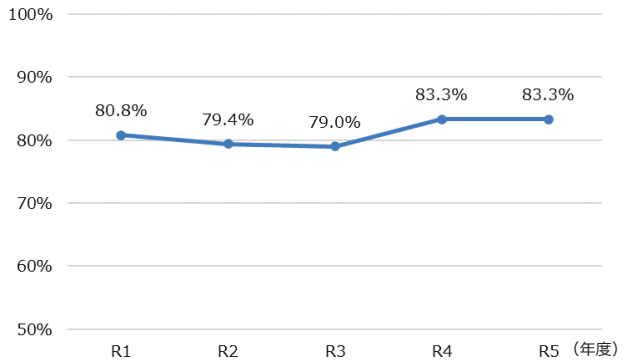
令和元年度と令和５年度を比較すると、福島県産梨を店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ2.1%ポイント、1.3%ポイント上昇し、福島県産梨の評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は2.5%ポイント上昇した。

福島県産梨を見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産梨を見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」の合計値。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※見かけた人の割合のnはR1:7,790、R2:7,101、R3:7,711、R4:3,569、R5:2,840。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率のnはR1:12,000、R2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000。

福島県産梨を高く評価している人の割合

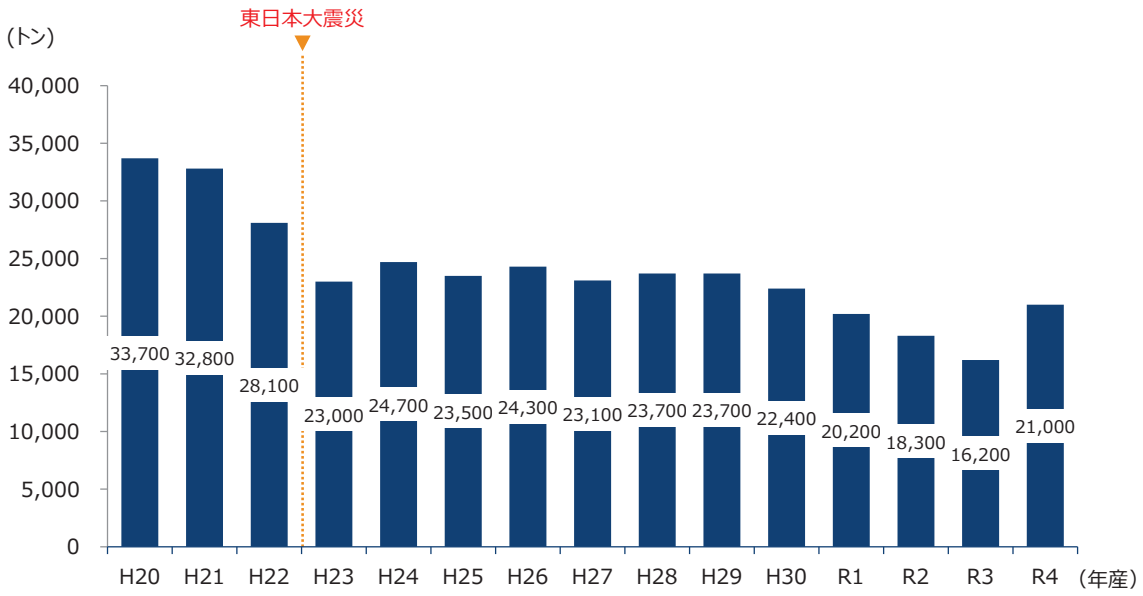


※福島県産梨を買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR1:1,098、R2:835、R3:1,008、R4:491、R5:418。

福島県産りんごの出荷量の推移

福島県産りんごの出荷量は、震災直後の平成23年産に減少し、その後は概ね横ばいで推移していたが、平成30年産以降は減少傾向で令和3年産は凍霜害の影響もあり、特に少ない出荷量となった。令和4年産は令和元年産と同程度まで回復した。

福島県産りんごの出荷量の推移

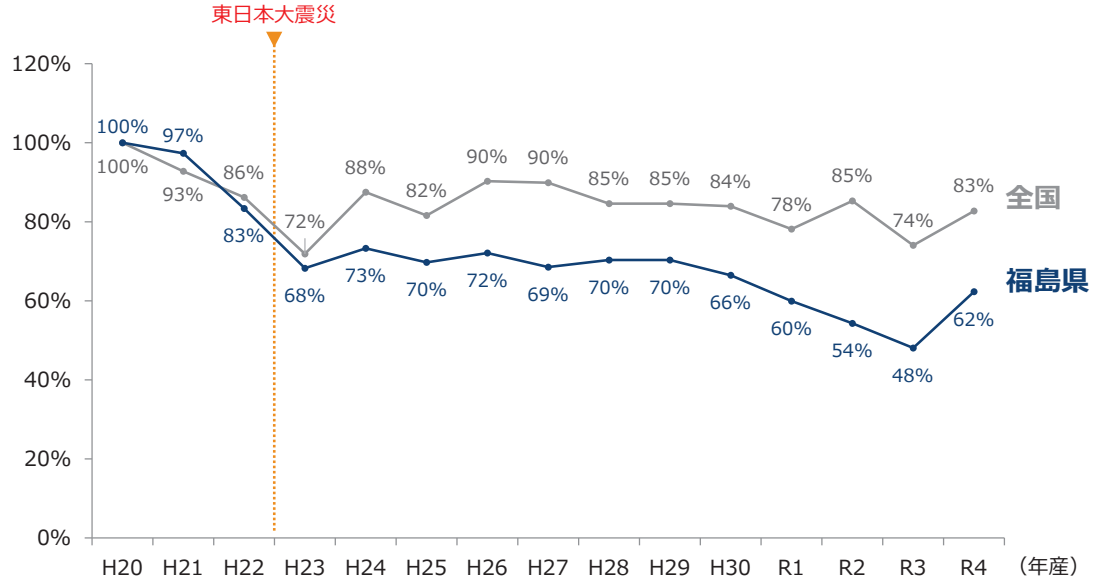


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

全国・福島県産りんごの出荷量の推移

福島県産りんごの出荷量は、震災直後の平成23年産まで、全国のりんごと同様に減少していた。全国の出荷量が平成26年産以降横ばいもしくは微減で推移する一方で、福島県産は平成30年産以降減少傾向にある。ただし、令和４年産は大きく増加した。

全国・福島県産りんごの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

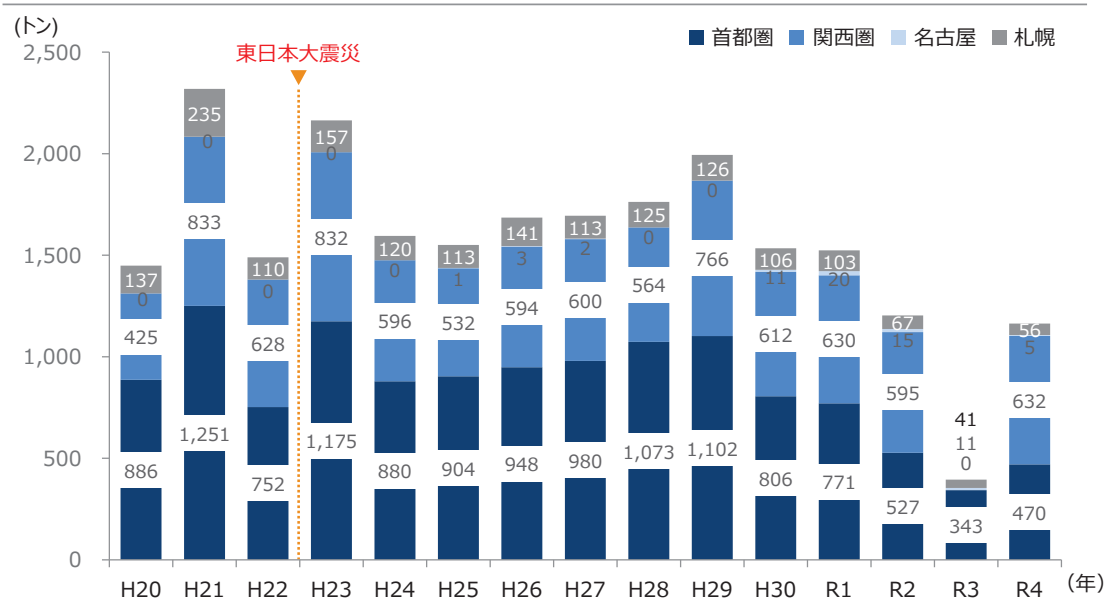


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

各市場における福島県産りんごの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産りんごは、主に首都圏、関西圏で取り扱われているが、首都圏の取扱量は、平成30年以降減少傾向にある。関西圏の取扱いは、令和３年には見られなかった。

各市場における福島県産りんごの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるりんごの産地リレー(令和4年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、10月～12月に福島県産りんごのシェアが全体の1%から2%程度を占めていた。横浜市中央卸売市場では、福島県産りんごの取扱いはほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和4年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	2%	2%	451
青森	89%	96%	98%	99%	98%	97%	96%	52%	69%	56%	40%	50%	42,197
長野	2%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	33%	13%	21%	22%	14%	5,793
山形	4%	2%	1%	1%	1%	1%	1%	10%	9%	14%	23%	19%	5,286
岩手	4%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	8%	7%	10%	13%	2,796
秋田	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	2%	2%	464
総量	**4,927**	**5,334**	**5,612**	**4,684**	**2,918**	**2,265**	**1,839**	**2,232**	**5,872**	**7,486**	**6,864**	**7,145**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	20
青森	70%	95%	99%	100%	99%	99%	97%	68%	60%	38%	28%	25%	5,220
岩手	21%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	22%	25%	16%	10%	794
山形	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	22%	14%	16%	24%	29%	696
秋田	8%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	14%	26%	28%	614
長野	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	0%	6%	6%	5%	167
総量	**788**	**764**	**734**	**699**	**483**	**353**	**312**	**286**	**765**	**997**	**708**	**654**	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるりんごの産地リレー(令和4年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では、10月～12月に福島県産りんごのシェアが全体の1%から8%程度を占めていた。京都市中央卸売市場においては、年間を通して福島県産りんごの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和4年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	8%	7%	632
青森	95%	99%	100%	100%	98%	97%	96%	65%	72%	59%	48%	53%	25,738
長野	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	29%	17%	25%	25%	22%	3,743
岩手	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	9%	10%	12%	10%	1,613
秋田	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	3%	3%	4%	430
総量	**2,674**	**2,861**	**3,264**	**2,780**	**2,174**	**1,734**	**1,410**	**1,446**	**2,850**	**3,681**	**3,660**	**4,229**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
青森	85%	100%	100%	100%	99%	97%	95%	28%	67%	46%	45%	52%	4,540
長野	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	68%	28%	41%	40%	29%	961
岩手	13%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	4%	9%	11%	14%	306
秋田	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	3%	4%	69
ニュージーランド	0%	0%	0%	0%	1%	3%	5%	3%	0%	0%	0%	0%	26
総量	**549**	**639**	**698**	**619**	**436**	**238**	**186**	**214**	**544**	**537**	**664**	**600**	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるりんごの産地リレー(令和4年産・その他)

名古屋市中央卸売市場においては、年間を通して福島県産りんごの取扱いがほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、12月に福島県産りんごがシェア3位であったが、量は僅かである。

各市場における産地リレー(令和4年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5
青森	94%	97%	100%	100%	98%	98%	95%	30%	46%	40%	29%	36%	9,176
長野	3%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	67%	52%	55%	62%	52%	4,279
岩手	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	4%	9%	11%	445
秋田	3%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	1%	96
ニュージーランド	0%	0%	0%	0%	1%	3%	3%	2%	0%	0%	0%	0%	41
総量	**1,196**	**1,366**	**1,332**	**1,108**	**723**	**475**	**308**	**566**	**1,590**	**2,013**	**1,628**	**1,752**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	2%	10%	56
青森	82%	85%	91%	100%	95%	98%	99%	91%	55%	36%	41%	65%	3,609
北海道	17%	14%	7%	0%	0%	0%	0%	7%	44%	64%	53%	19%	1,155
岩手	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	28
山形	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	0%	0%	2%	2%	24
総量	**351**	**412**	**539**	**468**	**330**	**301**	**185**	**234**	**471**	**661**	**493**	**472**	

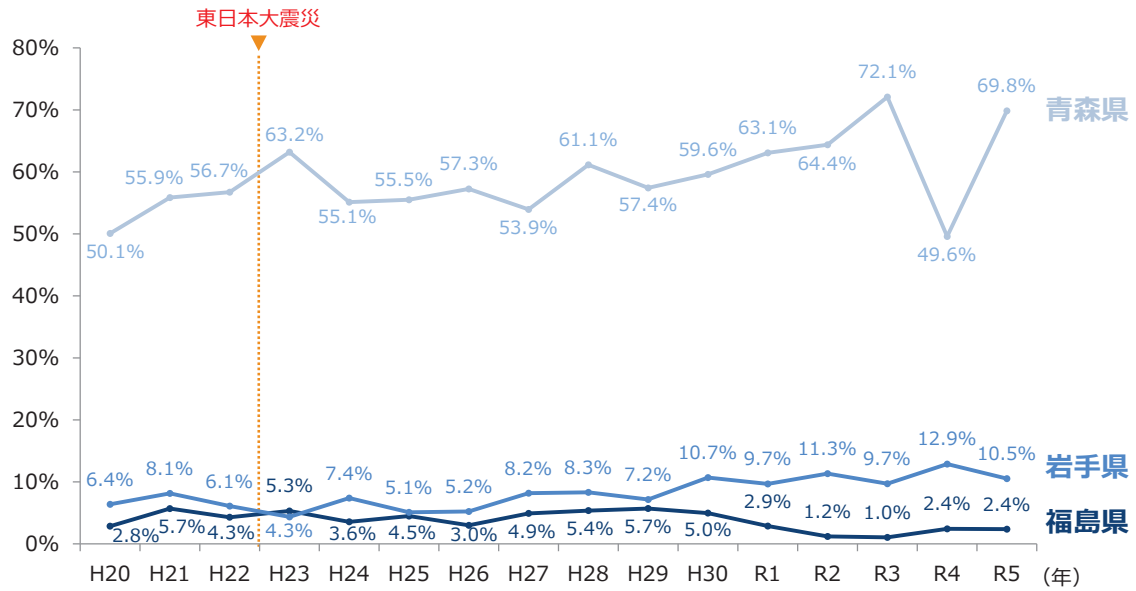
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

東京都中央卸売市場における福島県産りんごのシェアの推移

東京都中央卸売市場の12月の福島県産りんごのシェアは、平成21年～平成30年まで５%程度を維持していたが、近年は縮小傾向にある。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(12月)

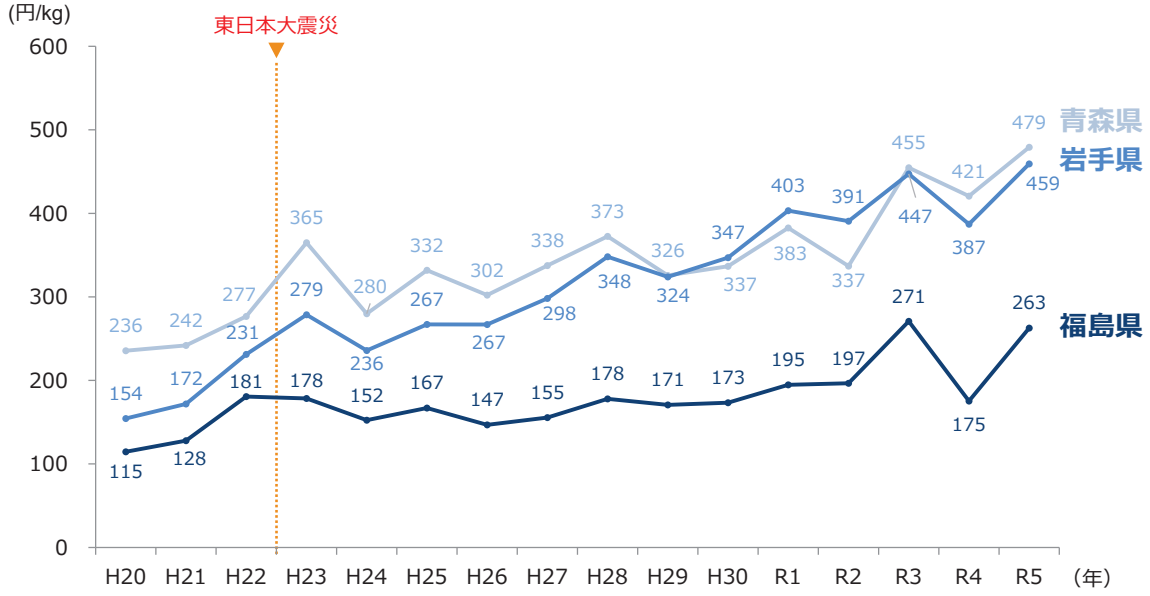


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産りんごの単価の推移

東京都中央卸売市場の12月の福島県産りんごの平均単価は、平成28年から上昇傾向にあり、170円/kg以上の水準で推移している。令和5年は263円/kgであった。ただし、青森県産や岩手県産との価格差は震災前より拡大している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(12月)

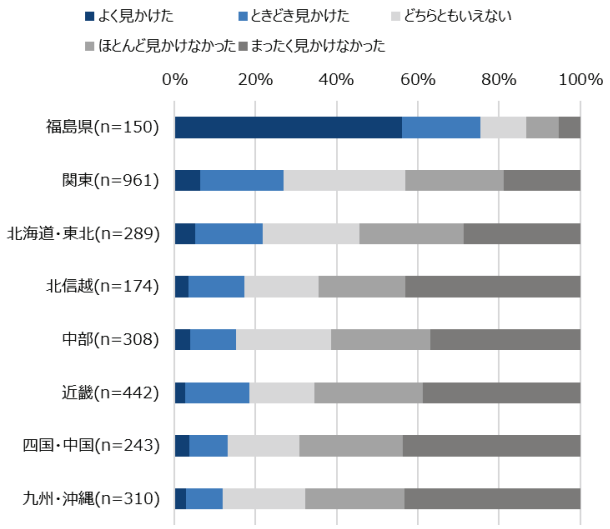


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産りんごを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

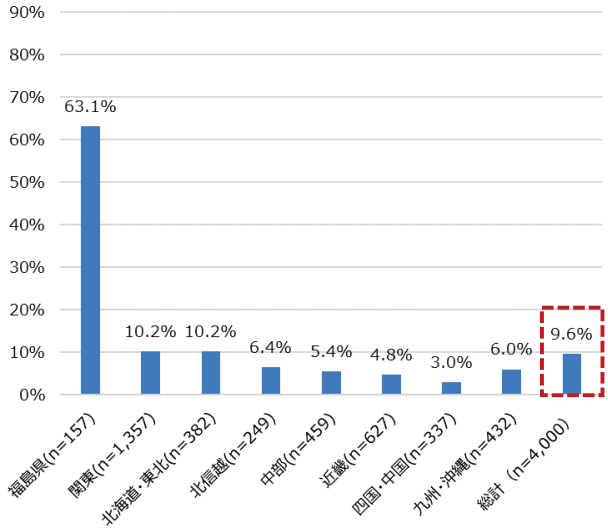
福島県産りんごを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産りんごを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では9.6%であった。

福島県産りんごを店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産りんごを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産りんごの購入経験率

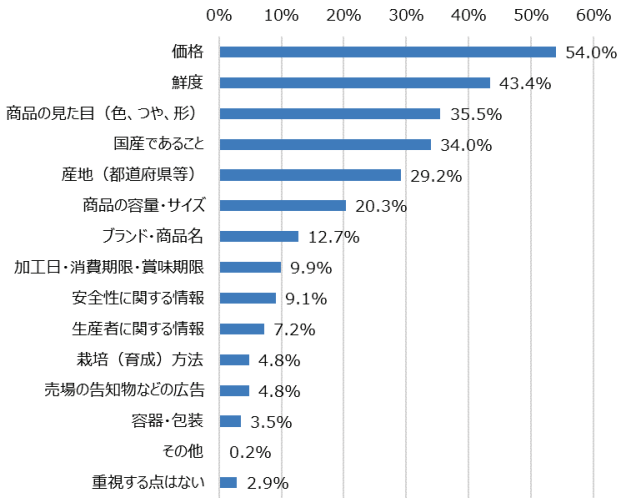


※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

りんご購入時の重視点と福島県産りんごの購入者の評価（消費者アンケート）

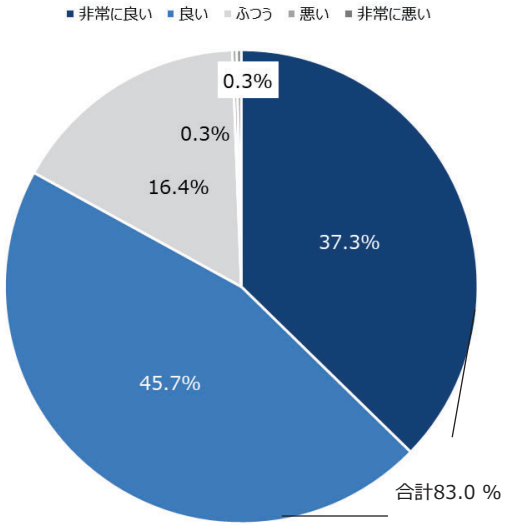
福島県産に限らずりんご購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「商品の見た目（色、つや、形）」があがった。福島県産りんごの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が83.0%であった。

りんご購入時の重視点（n=3,156、複数回答）



※りんご購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上りんごを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産りんごの購入者の評価（n=383）

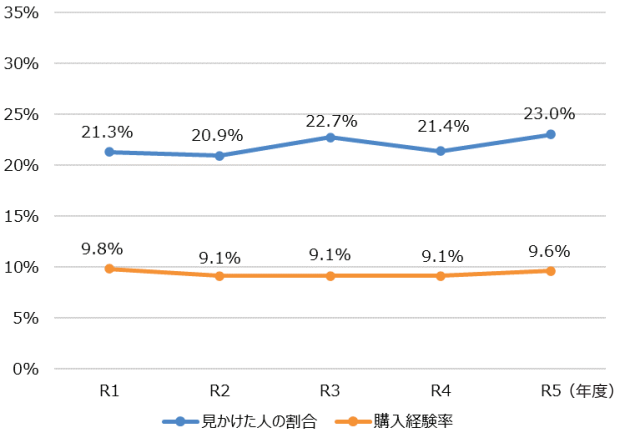


※福島県産りんごを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産りんごを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

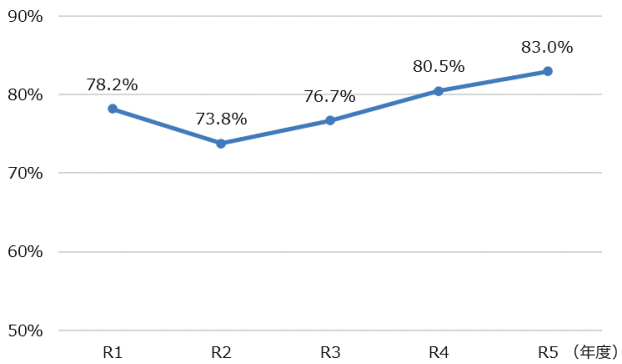
令和元年度と令和５年度を比較すると、福島県産りんごを店頭で見かけた人の割合は1.7%ポイント上昇、購入経験率は0.2%ポイント低下、福島県産りんごの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は4.8%ポイント上昇した。

福島県産りんごを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産りんごを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」の合計値。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※見かけた人の割合のnはR1:7,828、R2:7,172、R3:7,774、R4:3,579、R5:2,877。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率のnはR1:12,000、R2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000。

福島県産りんごを高く評価している人の割合

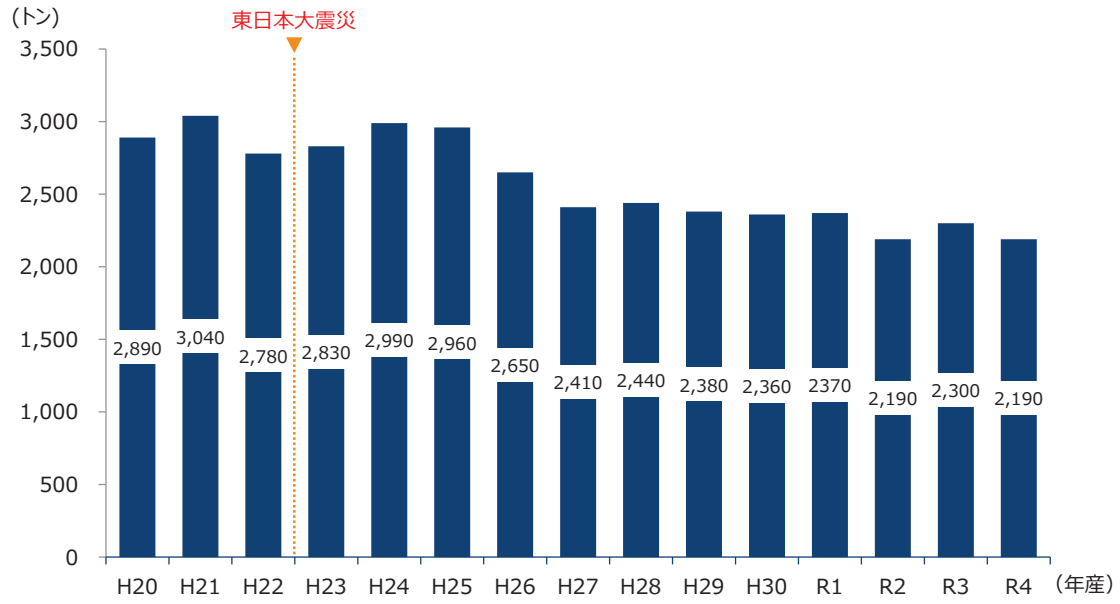


※福島県産りんごを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR1:1,177、R2:997、R3:1,005、R4:498、R5:383。

福島県産ぶどうの出荷量の推移

福島県産ぶどうの出荷量は、平成26年産から平成27年産にかけて減少した後、近年は概ね横ばいで推移している。

福島県産ぶどうの出荷量の推移

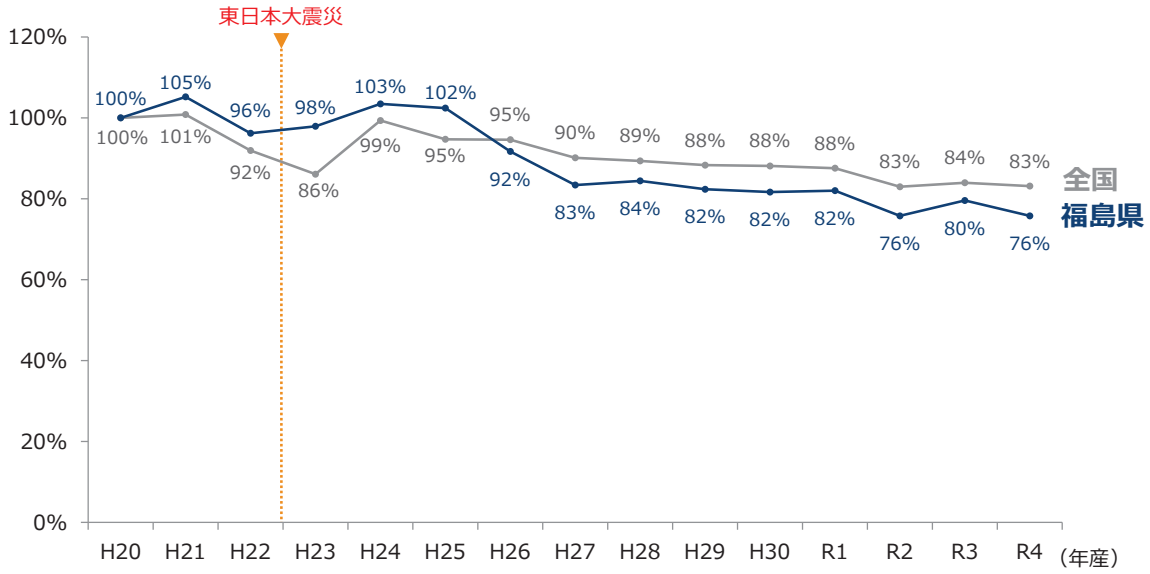


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

全国・福島県産ぶどうの出荷量の推移

全国のぶどうの出荷量は、平成24年産に増加した以降は減少傾向にある。福島県産ぶどうの出荷量は、平成26年産・平成27年産で大幅に減少した後、横ばいで推移していたが、令和2年・令和4年産で再び減少し、令和4年産は平成20年産の76%となっている。

全国・福島県産ぶどうの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

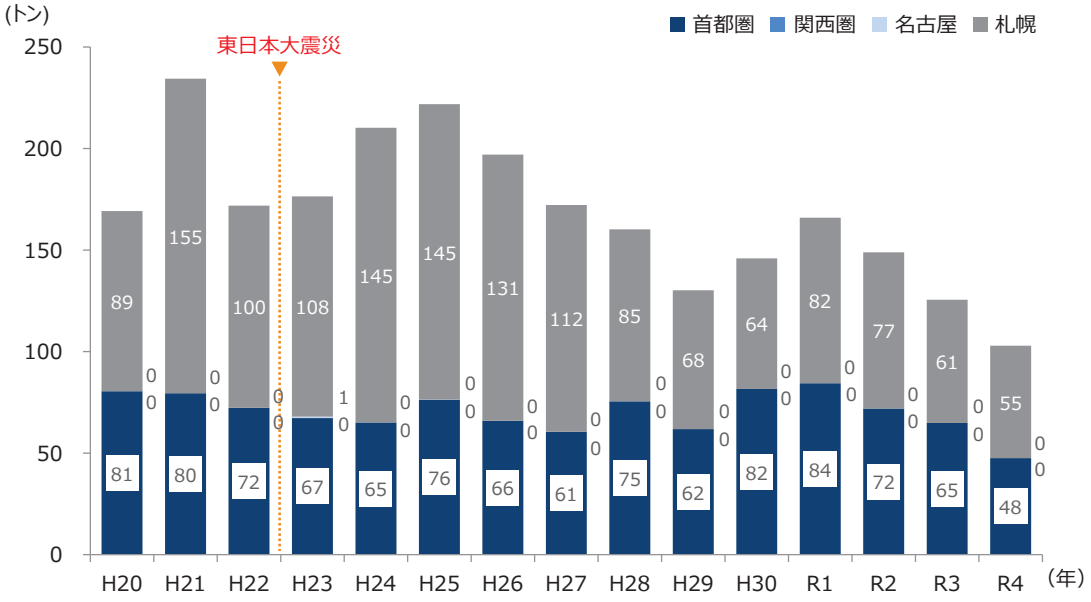


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

各市場における福島県産ぶどうの取扱量の推移

主要４地域の市場における福島県産ぶどうは、首都圏や札幌に多く出荷されているが、近年は減少傾向にある。関西圏、名古屋においては平成23年を除き、取り扱っていない。

各市場における福島県産ぶどうの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるぶどうの産地リレー(令和4年産・首都圏)

福島県産ぶどうの取扱いは、東京都中央卸売市場、横浜市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通してほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和4年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	1%	43
山梨	2%	1%	0%	2%	9%	15%	30%	63%	58%	27%	7%	2%	5,925
長野	41%	2%	0%	1%	3%	3%	5%	8%	23%	51%	72%	71%	3,531
山形	3%	0%	0%	0%	0%	1%	37%	22%	8%	5%	4%	3%	1,710
岡山	0%	0%	0%	0%	0%	4%	9%	4%	9%	13%	4%	2%	1,069
チリ	5%	66%	96%	88%	61%	13%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	620
総量	**93**	**87**	**152**	**181**	**285**	**531**	**1,135**	**3,347**	**4,465**	**2,623**	**722**	**394**	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	5
山梨	0%	0%	0%	0%	2%	11%	32%	63%	57%	36%	2%	2%	629
長野	15%	1%	0%	0%	0%	1%	1%	4%	23%	48%	64%	51%	285
山形	0%	0%	0%	0%	0%	1%	30%	24%	6%	0%	0%	0%	168
岡山	0%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	4%	10%	11%	9%	6%	100
他外国	7%	85%	94%	57%	45%	15%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	93
総量	**21**	**10**	**21**	**43**	**52**	**71**	**149**	**396**	**425**	**216**	**67**	**36**	

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるぶどうの産地リレー(令和4年産・関西圏)

福島県産ぶどうの取扱いは、大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても見られなかった。

各市場における産地リレー(令和4年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
チリ	9%	75%	100%	97%	86%	74%	15%	0%	0%	0%	0%	0%	683
アメリカ	91%	25%	0%	0%	0%	0%	0%	14%	72%	91%	99%	100%	585
オーストラリア	0%	0%	0%	3%	14%	24%	36%	22%	3%	0%	0%	0%	126
メキシコ	0%	0%	0%	0%	0%	2%	46%	44%	16%	3%	0%	0%	81
岡山	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	5%	1%	0%	0%	8
総量	**78**	**60**	**124**	**177**	**219**	**179**	**102**	**40**	**61**	**104**	**173**	**183**	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
山梨	0%	0%	0%	0%	0%	1%	14%	48%	38%	14%	0%	0%	117
岡山	0%	0%	0%	0%	0%	1%	5%	5%	46%	64%	9%	7%	93
チリ	25%	97%	87%	46%	38%	23%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	88
福岡	0%	0%	0%	0%	3%	21%	32%	22%	7%	0%	0%	0%	74
オーストラリア	0%	0%	13%	54%	53%	13%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	56
総量	**9**	**15**	**24**	**31**	**46**	**77**	**71**	**119**	**109**	**49**	**14**	**12**	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるぶどうの産地リレー(令和4年産・その他)

福島県産ぶどうの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。札幌市中央卸売市場では、12月の福島県産ぶどうのシェアは3位であった。

各市場における産地リレー(令和4年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に■■■で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
長野	30%	1%	0%	0%	1%	2%	6%	8%	45%	85%	77%	66%	904
山梨	0%	0%	0%	0%	1%	6%	24%	51%	47%	11%	0%	0%	775
山形	0%	0%	0%	0%	0%	0%	38%	32%	5%	0%	0%	0%	335
チリ	18%	93%	90%	27%	33%	15%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	179
オーストラリア	0%	0%	7%	71%	42%	10%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	155
総量	**26**	**24**	**46**	**91**	**140**	**208**	**235**	**674**	**673**	**424**	**124**	**99**	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	6%	10%	15%	20%	55
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	29%	52%	50%	26%	3%	273
チリ	20%	75%	85%	97%	96%	76%	15%	0%	0%	0%	0%	0%	268
山梨	0%	0%	0%	0%	1%	4%	23%	39%	27%	13%	0%	0%	157
長野	10%	1%	1%	0%	0%	1%	5%	7%	7%	16%	25%	18%	87
青森	34%	19%	13%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	5%	19%	24%	59
総量	**29**	**38**	**48**	**48**	**82**	**81**	**48**	**137**	**253**	**165**	**69**	**54**	

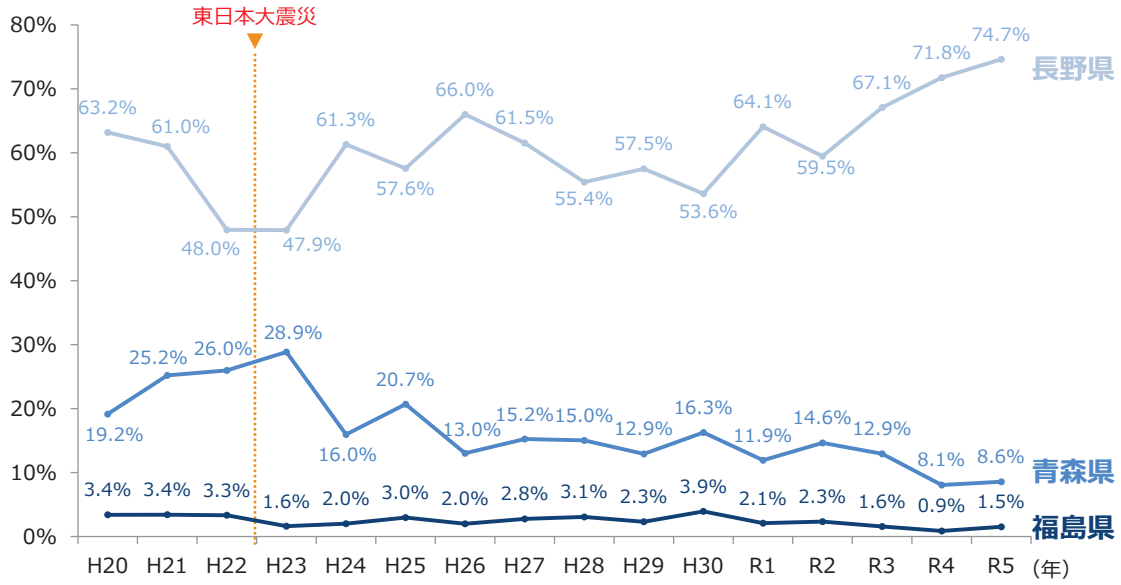
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産ぶどうのシェアの推移

東京都中央卸売市場の11月の福島県産ぶどうのシェアは、震災前から3%程度で推移していたが、令和3年以降は縮小傾向にある。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(11月)

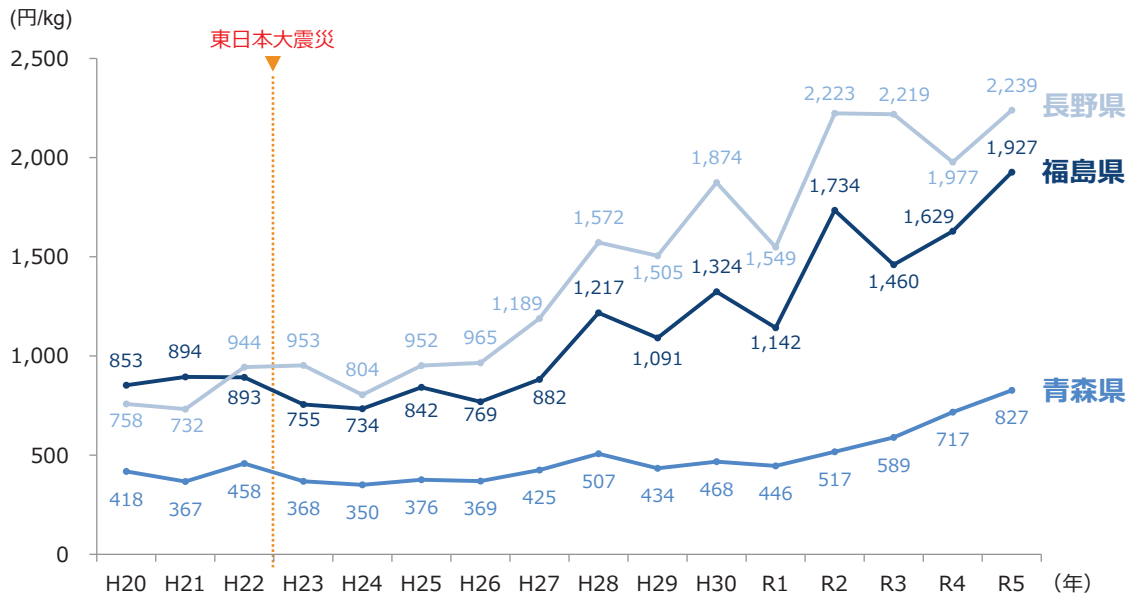


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産ぶどうの単価の推移

東京都中央卸売市場の11月の福島県産ぶどうの平均単価は、震災直後に微減したが、平成25年から徐々に上がり、平成28年以降は震災前の水準を超えている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(11月)

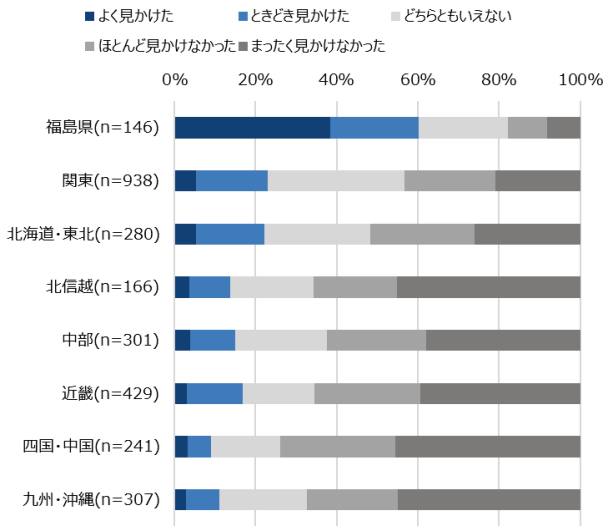


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産ぶどうを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

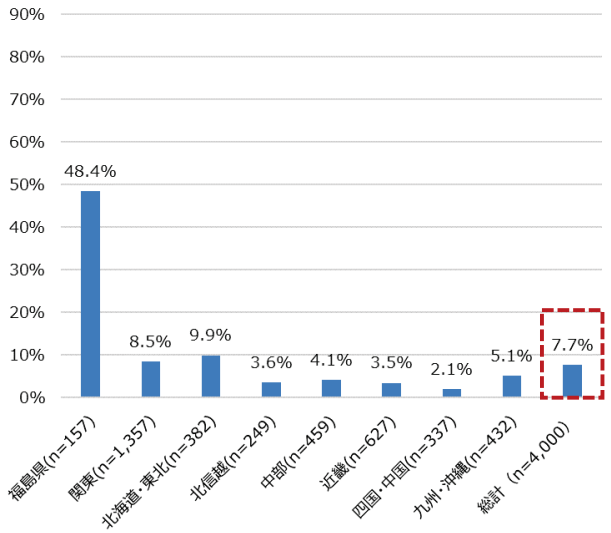
福島県産ぶどうを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産ぶどうを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では7.7%であった。

福島県産ぶどうを店頭で見かけたか



※過去１～２年に、店頭で福島県産ぶどうを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産ぶどうの購入経験率

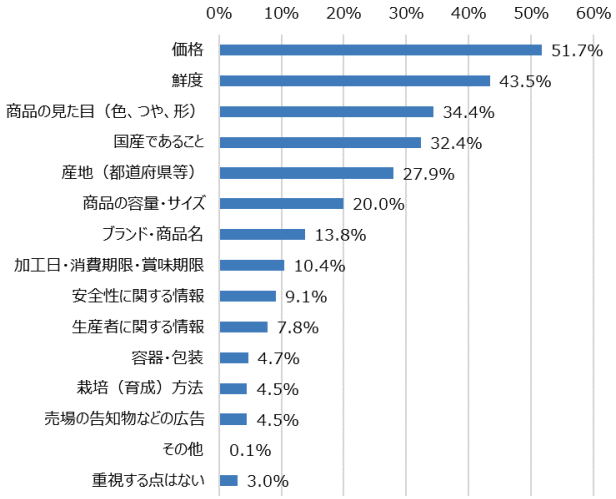


※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

ぶどう購入時の重視点と福島県産ぶどうの購入者の評価（消費者アンケート）

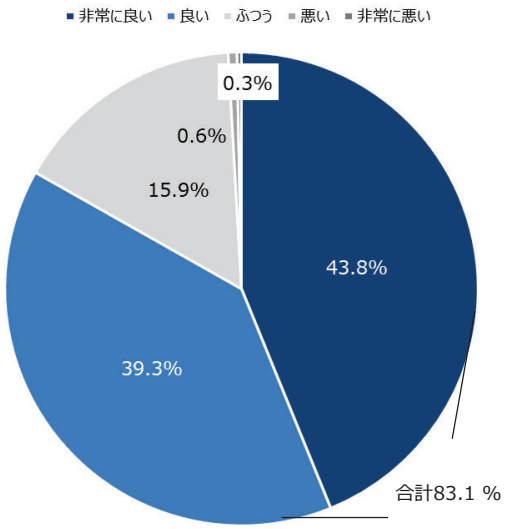
福島県産に限らずぶどう購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「商品の見た目（色、つや、形）」があがった。福島県産ぶどうの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が83.1%であった。

ぶどう購入時の重視点（n=2,374、複数回答）



※ぶどう購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に１回以上ぶどうを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ぶどうの購入者の評価（n=308）

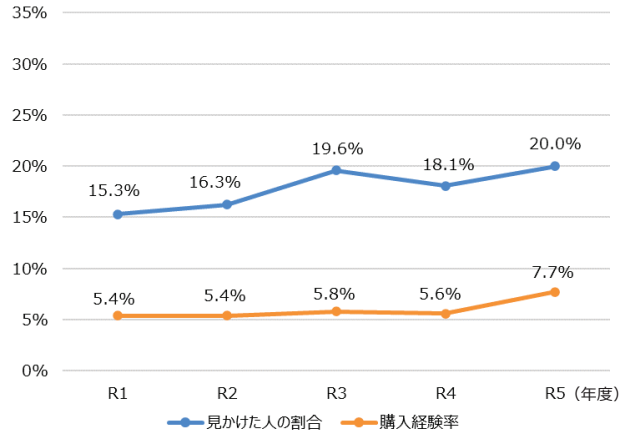


※福島県産ぶどうを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ぶどうを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

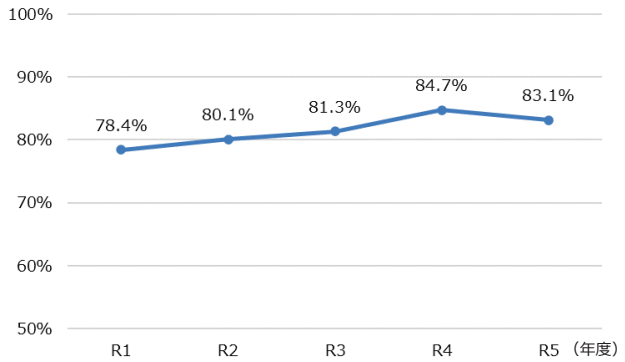
令和元年度と令和５年度を比較すると、福島県産ぶどうを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ4.7%ポイント、2.3%ポイント上昇し、福島県産ぶどうの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は4.7%ポイント上昇した。

福島県産ぶどうを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産ぶどうを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」の合計値。
※購入経験率＝1度でも購入したことがある人数／回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※見かけた人の割合のnはR1:7,546、R2:6,955、R3:7,551、R4:3,465、R5:2,809。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率のnはR1:12,000、R2:11,000、R3:11,000、R4:5,500、R5:4,000。

福島県産ぶどうを高く評価している人の割合

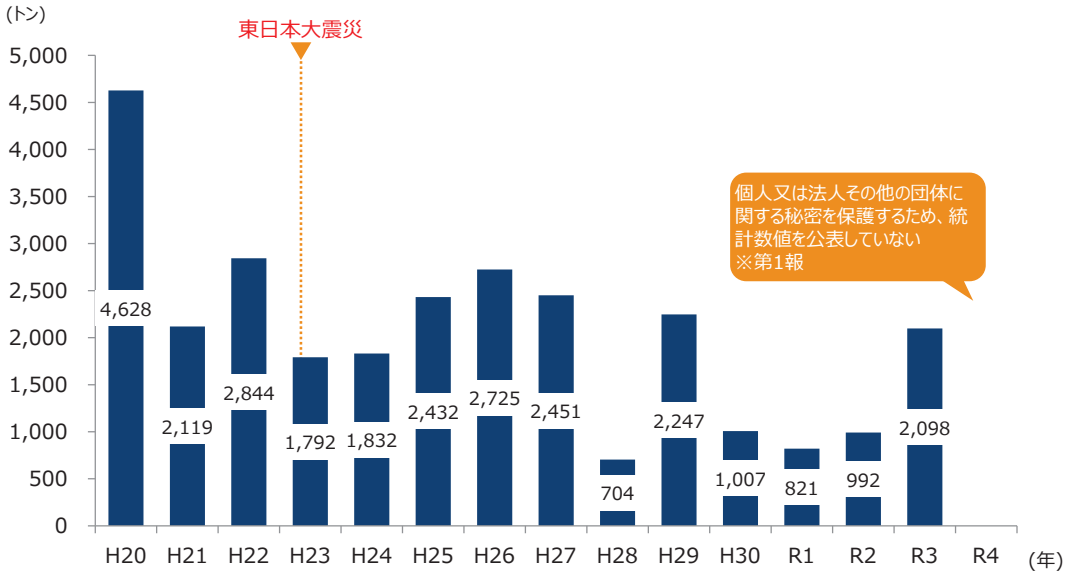


※福島県産ぶどうを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR1:645、R2:597、R3:633、R4:307、R5:308。

福島県におけるカツオ漁獲量の推移

福島県内の漁協に所属する船によるカツオの漁獲量は、平成28年に大きく減少した後、平成29年には一時的に回復したが、平成30年には再度大きく減少した。以降は1,000トン前後を推移したが、令和3年には再び2,000トン以上となった。

福島県におけるカツオ漁獲量の推移



※数値は属人(福島県内の漁協に所属する船による)の漁獲量
データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」　※ H23は震災前の漁獲を含む